

個人投資家向け説明会 質疑応答要旨

回答者：CF0 橋本巖

日時：2024 年 7 月 17 日

※この資料は、質疑応答の内容を要約したものです。

Q1: 2024 年 3 月期のドルベースでの結果を教えてください。また、2024 年 3 月期と 2023 年 3 月期との差はどの程度か。加えて、為替が 1 円変動した場合、利益にどの程度の影響が生じるのか。

A1: (回答者：CF0 橋本巖)

為替感応度については、ドルが 1 円変動した場合は約 1 億円、ユーロが 1 円変動した場合は約 0.5 億円の影響がございます。

ドルベースで実態として売上が増えているのかというご質問ですが、当社はコロナ禍明けに相当程度の受注を獲得しており、生産遅延の影響もあって受注残が積み上がっていました。生産体制の正常化に伴い売上計上が進んだことから、2023 年 3 月期と 2024 年 3 月期を比較した場合も、外貨ベースで売上は増加しています。

なお、今期については証券印刷機の受注が売上に貢献してくるため、事業は上向きの基調にあると認識しています。

説明資料内の棒グラフで示した為替差異の項目をご覧ください、為替による影響をご確認いただければと思います。

Q2: 高配当銘柄であると説明している一方、前期と比べると今期は減配となるのか。今期の業績について、説明会でのイメージと業績や配当の数字がうまく一致しない。配当方針について教えてください。

A2: (回答者：CF0 橋本巖)

前期は創業 100 周年の記念配当 30 円を実施していたため、見かけ上は今期の配当が低く見えてしまう面がございます。

当社は製品の出荷が年度後半に集中する傾向があり、年度前半の段階で通期業績を見通すことが容易ではありません。為替動向などの影響もあるため、例年、保守的な業績予想からスタートし、その後の進捗を踏まえて業績予想を修正するケースが多くなっています。そのため、年度当初から高い配当水準をお示しすることが難しい状況があります。

一方で、一度公表した配当予想を安易に引き下げるべきではないと考えています。そのため、まずは安定配当の水準をお示したうえで、今後の業績動向を踏まえながら株主還元を検討していく方針です。

Q3: 新規投資として約 150 億円が示されているが、M&A の機会によってこれを超える案件が生じた場合はどのように資金を調達するのか。また、株主が不利益を被らない形で、資本コストを上回る収益性が見込める案件であれば投資を行う考えなのか。

加えて、上場を維持する意義や、株主還元と従業員への還元を含めた資本配分の考え方についても伺いたい。

A3: (回答者: CFO 橋本巖)

今回の 200 億円の投資の中には、人的投資も相当程度含めています。具体的な内容は申し上げにくい部分もありますが、従業員のエンゲージメント向上に向けた施策も織り込んでおり、株主還元だけでなく、従業員への還元についてももしっかり取り組んでいきます。

M&A につきましては、まずリターンを十分に精査し、資本コストを上回る収益性が見込めることを前提としています。そのうえで、200 億円を超えるような大型案件であっても、戦略上重要であれば取り組んでいきたいと考えています。

資金調達については、必要に応じてファイナンスを活用する可能性はありますが、現時点で具体的な手法を申し上げることは難しい状況です。

上場を維持する意義は十分にあると考えています。特に証券印刷機事業では、今後も世界の競合企業と戦っていく中で、財務情報の透明性やガバナンス体制は当社の強みです。こうした信頼を背景に世界各国でお客様との関係を深めており、上場は維持したいと考えています。

Q4: 為替感応度を教えて欲しい。また、ドル、ユーロ、中国元等のうち、念頭に置いておいた方がよい通貨を教えて欲しい。加えて、経常利益段階における為替の影響度や、在庫等の外貨資産から受ける通貨の影響についても教えて欲しい。

A4: (回答者: CFO 橋本巖)

為替感応度については、ドルが 1 円変動した場合に約 1 億円、ユーロが 1 円変動した場合に約 0.5 億円の影響があります。

当社は海外子会社を多数有しているため、この金額は輸出による為替影響だけを示したものではありません。円安局面では海外販売子会社の販管費を円換算した金額も増加することから、販管費や在庫等への影響も含めた総合的な影響額として、ドル 1 円当たり約 1 億円、ユーロ 1 円当たり約 0.5 億円とご理解いただければと思います。

円安になれば利益が大きく増えるように見えるかもしれませんが、海外事業の比率が高まっているため、海外子会社の販管費が増加する影響もあり、為替メリットだけがそのまま利益に反映されるわけではありません。

また、中国向けは円建てでの取引も相応にあることから、中国元の変動による影響は比較的限定的です。そのため、為替影響については基本的にドルとユーロを中心に考えています。

以上